

# 正院小授業スタイル

## 3問スタイルとダブルジャンプスタイル（算数）

| 3問（ホップステップジャンプ）スタイル                                                                                      | 授業の流れ | ダブルジャンプスタイル                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  課題把握                   | 共有    |  ジャンプ1課題把握                   |
|  自力解決                   | 表出    |  ジャンプ1自力解決                   |
|  説明し合う                  | つなぐ   |  ジャンプ1説明し合う                  |
|  活用問題<br>発展問題<br>学習のまとめ | 活かす   |  ジャンプ2自力解決<br>説明する<br>学習のまとめ |
| 適用問題<br>学びの姿5点 振り返り                                                                                      | 振り返る  | 適用問題<br>学びの姿5点 振り返り                                                                                            |

### <授業の流れ>

#### ・共有・表出【直接指導】

共有では、ホップ問題（既習やステップ類似問題）を通して、式や図、言葉を使った「お手本しずこさん」を通して、問題の解き方を共有する。また、今日のズバリで、「方法の見通し」をもたせる。その後、本時の課題を把握する。課題は赤枠で囲み、全員で音読する。

表出では、ホップ問題を活かし、ステップ問題について、自分の考えを「正院ノート」にまとめる。つなぐ場面で全員が説明し合う場面に参加できるように個別支援を行う。

#### ・つなぐ【間接指導】

つなぐでは、始めに自分の考えを発表ボードにまとめる。次に、学習ガイドは、ガイドボードの〇〇タイムを手掛かりに授業を進める。発表の際、発表ボードと指示棒等を使って説明する。声の大きさを意識するための「話し方123」や友達の考えと比べる「聞き方グーチョキパー」を利用する。

最後に、正院ノートに友達の考えを書く。

#### ・活かす【直接指導】

活かすでは、ジャンプ問題（活用問題、発展問題）を直接指導で行う。理解度を確かめる問題を解き、本時の学びを確かなものにする。また、授業のポイントを「どーなつボード」やズバリで確認し、まとめるための支援を行う。授業のまとめは、青で囲む。

#### ・振り返る【間接指導】

適用問題や学びの姿5点、振り返りを行う。「学びの姿5点振り返りシート」の記入と振り返りを正院ノートに書く。振り返りシートは、毎時間記入し、教師が点検する。月ごとに、振り返りシートを検証し、児童の実態把握に努める。

## 正院ノ一ト (算数)

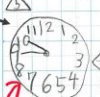
日付, 単元名, 問題番号はわくの外に

時と時間のめやす

(5/2)

前の時こくとあわせた時間のめやすを考えよう。

①



9時50分

20分前



10時10分

図があらわす分針や針の赤で目付けね

125回

40分 + 30分 = 70分

60分 = 1時間だから

1時間10分

② 10時50分

③ 110分 + 20分 = 130

2時間10分

④ 30分 + 20分 + 30分 = 80分

1時間20分

まとめは青いわく

前の時こくとあわせた時間は時計や数直線を使う。

⑤ まちがえやうなところもあったけど、あてりたのでよかったです。

気をつけて問題にむかいますね

⑥ は、ふり返りを書く。

課題は赤いわく

⑦ は、図・式・言葉で自分の考えを、根拠とともに書く。

ズバリ

活用問題  
発展問題  
適用問題

⑧ は、友達のことを書く。

⑨ は、ふり返りを書く。

|    |                                                      |
|----|------------------------------------------------------|
| 特徴 | ・全体を一目で見渡すことができ、復習や確認に便利のように、見開き2ページで書く。             |
|    | ・何度も見返しながら、自分の理解を深めるため、大切なポイントを書く場所が決まっている。          |
|    | ・ズバリ(＝方法の見通し)を意識し、自分の考えには図や式、言葉など根拠になるものを取り入れるようにする。 |
|    | ・文章は相手意識をもたせ、短い言葉で簡潔に、順序立てて書くようにする。                  |
|    | ・色、線、枠を使って、自分の考えをより効果的、構造的に表現する。                     |
| 重点 | ㊦：自分の考えだけでなく、その考えに至った根拠を取り入れ説明できるようにする。              |
|    | ㊧：友達の発表を聞く時は、自分の考えと比較し、聞くようにしている。発達段階に応じて意見をまとめる。    |
|    | ㊨：本時に対する振り返りを記述する。                                   |

## ガイドボードと学習ガイド

ガイドボードは1時間の流れを端的に児童に示す。共通理解は以下の5点である。また、学習ガイドは同じ児童だけでなく、発達段階に合わせたローテーションで行うことで、全員が学習ガイドになれるようにする。

示す内容

- ・ ABノート
- ・ 4過程      みんなタイム， なかまタイム  
                    どーなつタイム， ベストタイム
- ・ ㊟（自分の考え）      ・ ㊞（友達の考え）
- ・ ㊟（学びの姿5点）      ・ ㊞（振り返る）
- ・ ㊟（ホップ問題）      ㊟（ステップ問題）      ㊟（ジャンプ問題）

